

東北自動車道
加須管内休憩施設舗装改良設計

特記仕様書

令和8年5月

東日本高速道路株式会社
関東支社 加須管理事務所

第1章 総則

1-1 調査等概要

- 1-1-1 調査等名 東北自動車道 加須管内休憩施設舗装改良設計
- 1-1-2 道路名 東北自動車道
- 1-1-3 履行箇所 自) 埼玉県さいたま市岩槻区馬込 (15.1KP)
至) 埼玉県蓮田市川島 (16.0KP)

1-1-4 主な履行内容

測量業務

基準点測量

基本基準点測量	3級基準点	3点
補助基準点測量	(4級)	0.25km
水準測量	3級水準測量	0.25km

地形測量

詳細測量	0.202万m ²
------	----------------------

舗装設計

休憩施設設計計画	0.54km
標準横断面作成	1枚
詳細図作成	20枚

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものと

する。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-1-3 「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 270 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-1-5-1 及び 5-2-3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
成果品	東北自動車道 加須管内 連絡等施設図面作成	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ（PDF データ）
成果品	関東支社管内 休憩施設 簡易構造検討業務		

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで、夏期休暇（3 日）を除く

1-6 計画行程表

1-6-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
測量業務	基本基準点測量	
	補助基準点測量	
	水準測量	
	詳細測量	
舗装設計	現地踏査	
	休憩施設設計計画	
	標準横断図作成	
	詳細図作成	

1-6-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-14-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

1-7 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内(休日等を除く)に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内(休日等を除く)に受注者へ返送するものとする。

1-8 工事記録情報の作成及び提出について

(1) 共通仕様書 1-44-1「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。

(2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工

事記録情報 完了届」(本特記仕様書様式—3)を調査等完了届提出予定の2週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

(3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-9 成果品

共通仕様書1-46-1「成果品」によらず下記の通りとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね30日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など(当該調査等以降に実施される業務)に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

1-10 三者協議会について

本業務の成果による発注工事(以下「予定工事」という。)において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」(以下「三者協議会」という。)を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者として協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1-11 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、工事打合簿を作成し相互に確認するものとする。あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 測量業務

2-1-1 基準点測量

基準点測量の作業条件は次のとおりとする。

(1) 地域区分

耕地（平地）：0.25km

(2) 伐採の有無

無

(3) 測量標設置の有無

無

(4) 囲い杭設置の有無

無

(5) 測量成果検定

有

3級基準点測量、3級水準点測量

総数：3点 実延長：0.25km

2-1-2 地形測量

地形測量の作業条件は次のとおりとする。

(1) 地域区分

耕地（平地）：0.202万m²

2-1-3 測量打合せ

測量業務の中間打合せ回数は3回とし、当初打合せは本特記仕様書2-2-2現地踏査、業務内容確認検査及び完了検査は本特記仕様書2-3設計打合せに含まれるものとする。なお、打合せの検測数量は1式とし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社加須管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

2-1-4 交通費・宿泊費（外業）

交通費・宿泊費（外業）とは、測量業務の外業に必要な交通費・宿泊費のことをいう。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

2-2 舗装設計

2-2-1 設計条件

本設計の設計条件は次のとおりとする。

(1) 休憩施設（蓮田SA）

1) ランプ規格 : 1級A規格

2) 計画交通量 : 94, 545台/日

(岩槻IC～久喜白岡JCT間 本線全断面交通量: 令和6年)

3) 上下区分 : 上り線

2-2-2 現地踏査

現地踏査とは、設計に必要な現地状況を十分調査、把握するものとし特に、発注者から貸与する完成図、用・排水系統図、施設管理用図面と現況との相違点、支障となる構造物等について現地で調査、把握するものとする。

2-2-3 休憩施設設計計画

休憩施設設計計画とは、当該休憩施設の駐車マス配置計画の設計内容を決定するのに必要な比較資料を作成するもので、貸与資料や支障物による施工または設計の制約を考慮のうえ検討し、共通仕様書5-4-3(2)設計計画を行うものをいう。

なお、比較案は3案程度とし、検討すべき項目は、駐車マス配置数、工事規模（支障移転物含む）、概略工程、概算工事費を想定しており、関係機関との協議状況に応じて設計内容が変更となった場合は、監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

2-2-4 標準横断図作成

標準横断図作成とは、共通仕様書5-6-2(3)5) 駐車場に対し、図面作成要領に基づいて作成するものとする。

2-2-5 詳細図作成

詳細図作成の種別と設計内容は次のとおりとする。

工種・名称・細目	区分	種類	枚数	作成難易度	数量計算	備考
詳細図作成 A	用排水工	用排水工詳細図	1	簡単	有	
	簡易舗装工	路面標示工詳細図	2			
		防護柵工詳細図	1			
		舗装構成タイプ図	1		無	
詳細図作成 B	簡易舗装工	路面標示工平面図	1	普通	有	
		舗装工平面図	1		無	
詳細図作成 C	設計協議説明	撤去工図面数量	3	複雑	有	
		施工ステップ図	10		無	

2-2-6 設計打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め6回とする。当初の打合せは現地踏査に行い、打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上、決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社加須管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

2-3 交通費・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、Web 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-4 成果品

報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

第3章. 補足事項

3-1 その他

次に示す事項については、関連する業務の設計内容を変更及び追加する可能性がある。これらについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者との協議し定めるものとする。

- (1) 測量作業時の交通規制並びに交通安全要員の配置を追加する場合がある。
- (2) 測量範囲、測量内容、基準点の設置数を変更及び追加する場合がある。
- (3) 電源ケーブル、通信ケーブル、照明等設備の支障移転設計を追加する場合がある。
- (4) 詳細図作成の数量を変更する場合がある。

3-2 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和5年10月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通仕様書「1-2-3 検査及び立会い」に定める検査及び立会いについて、デジタル通信技術を活用し遠隔地からの確認、検査及び立会いの実施により、受注者及び発注者の調査等管理業務の効率化による生産性向上を図るものである。

遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるものとする。

様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 関東支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 東北自動車道 加須管内休憩施設舗装改良設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員
_____ 殿

受 注
管理技術者
_____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路(株) 関東支社 加須管理事務所		
調 査 等 名	東北自動車道 加須管内休憩施設舗装改良設計		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。